

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス						単位数	分類	予定時数
英語演習	学校設定科目	3	A	B	C	D	E	F	2	必修選択	78 時間

**教科担当・教材等**

授業担当者名	
授業形態	講義・演習等
教科書	Heartening English Communication II
使用教材等	総合入試必修編 CROSSBEAM 4 EMILE社, 総合入試標準編 CROSSBEAM 5 EMILE社

**科目の目標・内容等**

学習目標	<p>【知識及び技能】語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解ができる知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】「英文の内容を正確に読み取る力」を身に付け、大学入試等での長文への対応力を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】「自ら学ぶ力」をつけるために、授業前の予習段階で新出語彙を調べ、既習の文法事項や構文の知識を用いて、長文の内容を理解する。その上で、授業に臨み、筆者による主張を授業内で読み直すことで、自らの生き方や考え方について考える態度を養う。</p>
------	--

**年間授業計画**

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	[ SCRAMBLE 4 ] Chapter 1 Chapter 2 Chapter 3 Chapter 4 Chapter 5 Chapter 6 Chapter 7 Chapter 8 ◎ 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解を前提とする。長文中の論理展開を正確に読み解き、筆者が述べようとしていることを正しく理解する。論説文、物語、随筆、それぞれにおいて、個々の英文や表現がパッセージ全体の中でどのような論理的役割を担っているかも考える習慣を身に付ける。リスニング力向上のため、ディクテーションの練習をする。	【知】長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 【思】論理関係を示す表現を理解している。 【態】論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
2	[ SCRAMBLE 4 ] Chapter 9 Chapter 10 Chapter 11 Chapter 12 Chapter 13 Chapter 14 [ SCRAMBLE 5 ] Chapter 1 Chapter 2 Chapter 3 Chapter 4 ◎ 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	制限時間内で正確に、長文の論理展開をつかむ力を身に付けるとともに、筆者の主張を正確に理解する。論説、物語、随筆において、それぞれ、個々の英文や表現が、パッセージ全体の中でどのような論理的役割を担っているかを考える習慣を身に付け、入試問題の実際の問題文に取り組み、本番での問いに対応する力や解法を学んでいく。リスニング力向上のため、ディクテーションの練習をする。	【知】長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 【思】論理関係を示す表現を理解している。 【態】論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
3	[ SCRAMBLE 5 ] Chapter 5 Chapter 6 大学入学共通テスト対策 国公立・私大入試対策	日頃から、新聞やインターネットなどを活用して最新の社会問題の背景知識を学び、幅広い知識や情報を得るようつとめるとともに、実践的な入試問題に取り組むことで、ここまでに培った長文読解力にさらなる磨きをかける。	【知】長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 【思】論理関係を示す表現を理解している。 【態】論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。